

新エネルギー・環境政策課では、高知市の清潔なまちのシンボルである鏡川の美しい景観や自然環境を保全するため、鏡川流域の自然と人、人と人との関わりとつながり(鏡川流域パートナーシップ)の拡大を目指しています。「鏡川流域パートナーシップだより」では、鏡川流域パートナーシップ推進に向けたさまざまな取組を楽しく紹介します！

ハワイからの留学生が鏡川上流域を訪れました！

6月10日(月)、土佐塾中学・高等学校で英語教諭を務める藤澤佑介さんが、同校の実施事業「レインボー・コネクション」の一環で、**ハワイからの留学生を鏡川上流域の**各所に招き、自然との触れ合いや地元住民との交流の機会を創出しました。

鏡川流域関係人口講座3期生でもある藤澤さん。受講した関係人口講座を通じて知った桑尾沈下橋などを訪問先として選んでいただきました。

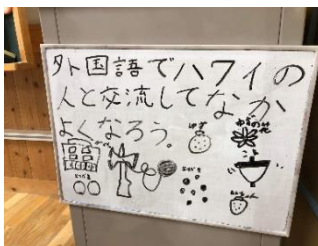


中学生から大学生までの日系アメリカ人4名が鏡川上流域を訪問！

レインボー・コネクションとは

土佐塾中学・高等学校が実施している、ハワイ州ホノルル市にある「ハワイの高知城」ことマキキ聖城キリスト教会と高知の教育機関との交流事業。過去20年間で、のべ300人以上の生徒が高知・ハワイをお互いに訪問し、国際理解を深めています。

土佐山学舎



土佐山学舎1年生から6年生までの児童およそ100名と交流しました！

児童の皆さんは、「アロハ(ハワイ語で『こんにちは』の意味)」と挨拶をしたり、一緒にフラダンスを踊ったりしながら、お互いの国の理解を深めました。

まちのコイン「ぼっちり」のスポットになっている桑尾沈下橋と古民家を訪れ、古民家のオーナーも交えて、鏡川沿いの風景を楽しみました。この古民家で暮らしたことがある内野加奈子さんが、鏡川を眺めながらハワイを懐かしんでいたというエピソードに、留学生の皆さんは関心を寄せていました。

内野加奈子さん：海洋写真家で、海図やコンパスを使わないハワイの伝統航海カヌー「ホクレア」の日本人初のクルー。NPO法人土佐山アカデミーの創始にも尽力。



古民家の上空を飛ぶトビを見た留学生の皆さんから、歓声が上がりました！

日没後には、鏡川上流域・**久重地域の里山**を訪れました。留学生の皆さんは、無数に飛び交うホタルはもちろん、ハワイでは珍しいカエルを見て驚いていました！



関係人口講座受講をきっかけに、**鏡川への多様な人の関わり**を生み出している藤澤さん。今回の取組によって生まれた**グローバルな関係人口のつながり**が今後も続くよう、期待しています。



鏡川流域関係人口のつながりを可視化し、循環を促進するために、スマホアプリ「まちのコイン」を導入しました。高知市のコイン名称は「ぼっちり」です。鏡川がつなぐ山、川、海、人のたくさんの「ちょうどいい」関わりを未来へと繋いでいきたいという意味が込められています。ユーザー、スポット募集中です！

※「ぼっちり」の詳細については、こちらをご覧ください。

<http://cms4.city.kochi.kochi.jp/soshiki/186/machinocoin.html>

「まちのコイン」のインストール



iPhone



Android